



家庭用

コーヒーメーカー

ペーパーフィルター・カフェポッド・
エコポッド対応

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことに
ありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書
を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる
方がいつでも見られるところに必ず
保管してください。



日本国内 100V 専用
交流 100V 以外の電源では
使用できません。

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

香り立つ、本格コーヒーを ご家庭でお楽しみください

家族や友達と過ごす楽しい時間、
のんびりくつろぐときに…
ちよつぷり贅沢な
コーヒー生活はじめましょう。



お好みの コーヒー粉を使って ペーパーフィルターで ドリップ

→P.12 ~ 17

真空2重構造のステンレスのコーヒーサーバーで保温するので、コーヒーの煮詰まりを防ぎ、風味、香りを逃しません。
コーヒーサーバーに氷を入れて、アイスコーヒーとしてもどうぞ。

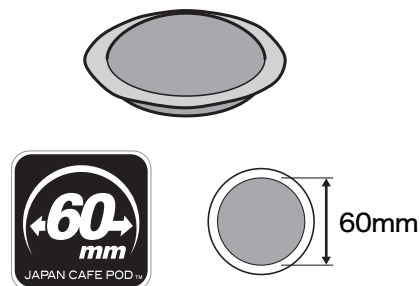


カフェポッドで 手軽に本格コーヒー

→P.18 ~ 21

「カフェポッド」は、1杯分のコーヒーを最適な挽き具合でフィルターペーパーに詰めたものです。

レギュラーコーヒー用(60mmタイプ)と、エスプレッソ用(44mmタイプ)に大きく分けて2つの規格があります。

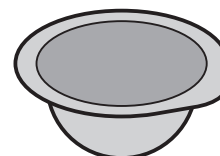


カフェポッドは、必ずレギュラーコーヒー用(60mmタイプ)の規格のものを使用してください。

コーヒー以外にも 楽しめるエコポッド

→P.22 ~ 25

「エコポッド (ECO-POD)」は、レギュラーコーヒーや紅茶、緑茶などを1杯分ずつ不織布で成型した半円形のカートリッジに詰めたものです。



◆ECO-PODは、UCC上島珈琲株式会社の登録商標です。

◆エコポッドのお買い求めは下記へ

- ・タイガーオンラインショップ
<http://tiger-netshop.jp>
- ・UCCエコポッドコールセンター
0120-655-233
<http://eco-pod.jp>

もくじ

安全上のご注意 4

各部のなまえと付属品 8

使う

はじめて使うとき
しばらく使わなかったとき... 10

フィルターを使って
コーヒーをいれる..... 12

カフェポッドを使って
コーヒーをいれる..... 18

エコポッドを使って
コーヒーなどをいれる... 22

お手入れ

お手入れする 26

- 使うたびに洗う部品 26
- 汚れるたびにお手入れする箇所 ... 26
- 各パッキンのつけかた 27
- サーバーふたのはずしかた・つけかた ... 28
- ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき... 28

こんなときは

本体内部に残った水を
排水する(クリーニング) ... 29

故障かな?と思ったら 29

消耗品・別売品の
お買い求めについて ... 31

- 樹脂部品(傷んできたとき) 31
- パッキン(消耗品) 31

仕様..... 31

保証とサービスについて 31

連絡先..... 裏表紙

◆この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉として表記しています。
◆コーヒー粉やポッドに関するお問合せは、それぞれの販売元へお問合せください。

安全上のご注意ください

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。



- ◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- ◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を示します。

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



⊘記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

警告



改造はしない。
修理技術者以外の方は分解したり、修理をしない。
(サーバーふたは、お手入れ時に分解できます。)
火災・感電・けがの原因。



交流100V以外では使用しない。
(日本国内100V専用)
火災・感電の原因。



定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



電源コードは、破損したまま使用しない。
また、電源コードを傷つけない。
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。



差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。



差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。



ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。



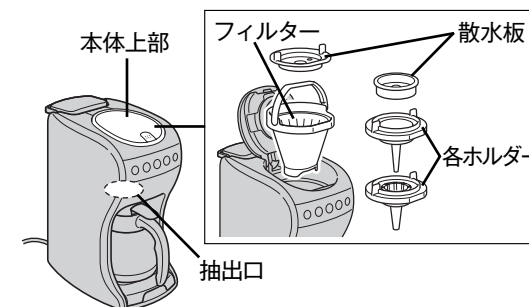
フィルター・コーヒーサーバー、または各ホルダーを取りつけない状態で使わない。
やけどや故障のおそれ。



子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。



使用中や使用後しばらくは本体上部・抽出口・フィルター・散水板・各ホルダーなどの高温部に触ったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。



本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

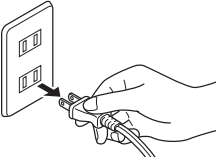




使用中は、本体ふたをあげない。
圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどをするおそれ。

警告

- 必ず実施** 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
(異常・故障例)
 - ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
 - 電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
 - 水タンクや本体から水もれする。
 - その他の異常や故障がある。
 すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

注意

- 必ず実施** 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
プラグを抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
- 必ず実施** 必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

- 禁止** タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

- 禁止** 不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。
- 禁止** 壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

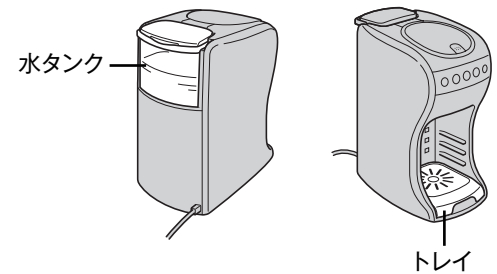
- 禁止** 倒したり落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。
故障や、水タンク・水タンクふた・コーヒーサーバーなどが破損してけがをするおそれ。
- 禁止** フィルターを使う場合、付属のコーヒーサーバー以外は使わない。
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。
- 禁止** カフェポッド・エコポッドを使う場合、付属のコーヒーサーバーは使わない。
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。
- 禁止** 抽出中にコーヒーサーバーやカップなどはずさない。また、サーバーレバーを触らない。
やけどや、テーブル・敷物を汚す原因。
- 禁止** コーヒーサーバーやカップなどをのせたまま本体を動かさない。
やけどやけがの原因。
- 禁止** コーヒーサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。
破損して、やけどやけがの原因。

- 禁止** コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
破損して、けがの原因。
- 禁止** 水タンクに水が入っていない状態でのカラだきはしない。
故障や火災の原因。

- 禁止** トレイ・トレイカバーをはずして使わない。
やけど・テーブルや敷物を汚す原因。
- 必ず実施** 続けて使用するときは、本体が冷めるまで(約10分)待つ。
すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。
- 禁止** 使用中に「ピピピ」と音が鳴り、停止した場合、本体が冷めるまで本体ふたを開けない。
蒸気やお湯が噴出してやけどをするおそれ。
- 禁止** 本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。
- 必ず実施** お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれると、やけどのおそれ。

末永くご使用いただくためのご注意

- 火気の近くでは使わない。
変形・故障の原因。
- 業務用として使わない。
故障の原因。
- 水タンクに水以外のものを入れない。
故障の原因。
- フィルターを使う場合、指定の大きさのペーパーフィルター以外は使わない。
→P.9
うまくドリップできない・故障・コーヒーがあふれる原因。

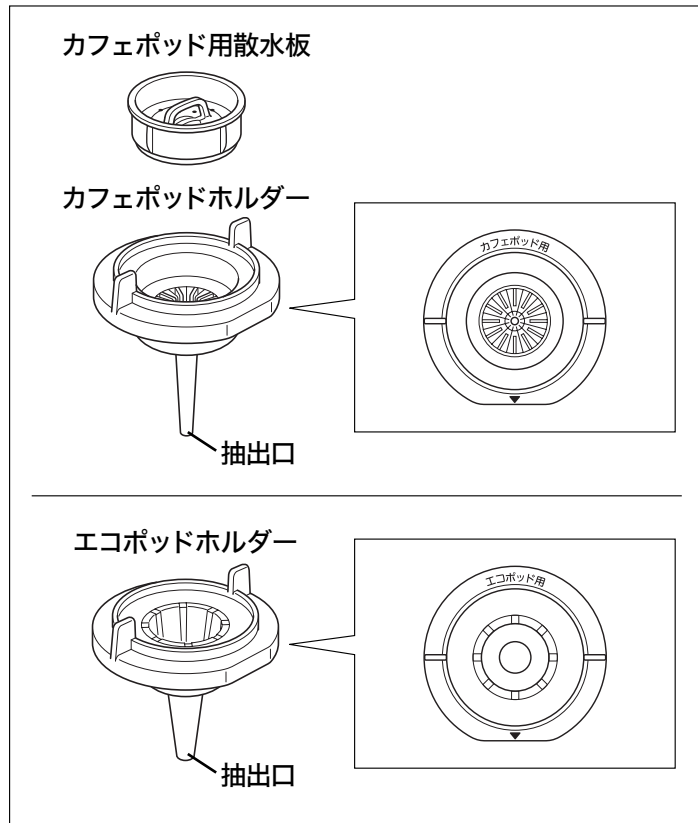
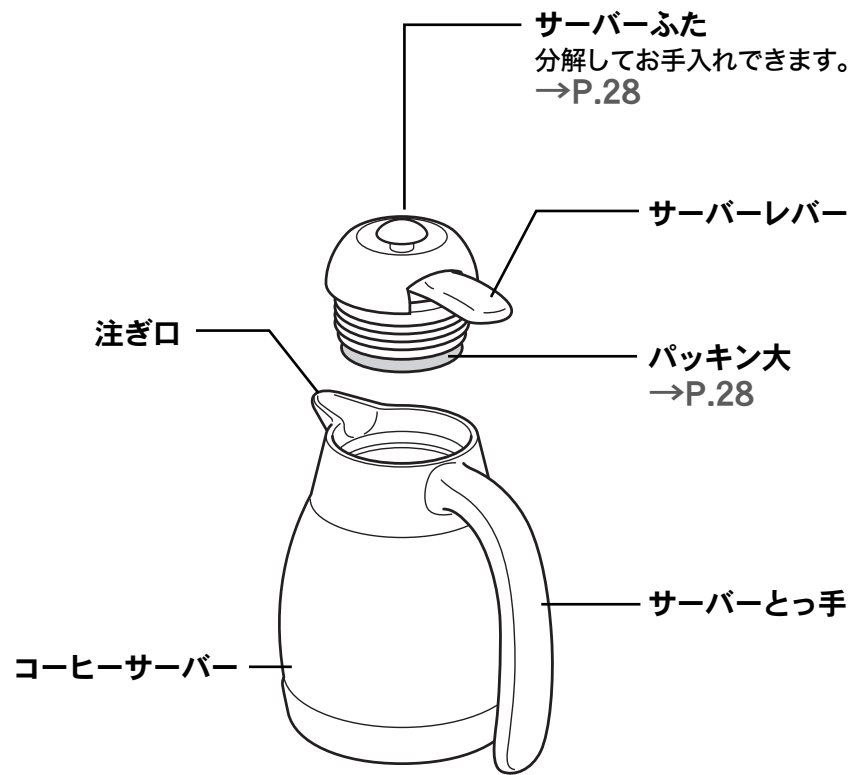
- 指定のカフェポッド・エコポッド以外は使わない。→P.2・3
うまく抽出できない・故障・コーヒーがあふれる・抽出中に本体ふたが開く原因。
- 水タンクに水を入れてセットした後は、水タンクをはずさない。
本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンク・トレイに水を入れたまま放置しない。
故障や変色・におい・腐敗の原因。



- フィルター・コーヒーサーバー・各ホルダーは、使うたびにお手入れする。
においの原因。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯の出口をふさぐなど、故障の原因。
- コーヒーサーバーをななめに傾けたり、サーバーレバーを押したまま、持ち運びしない。
内容物がもれて、やけどのおそれ。
- コーヒーサーバーを落とさない。
保温効果が下がる原因。

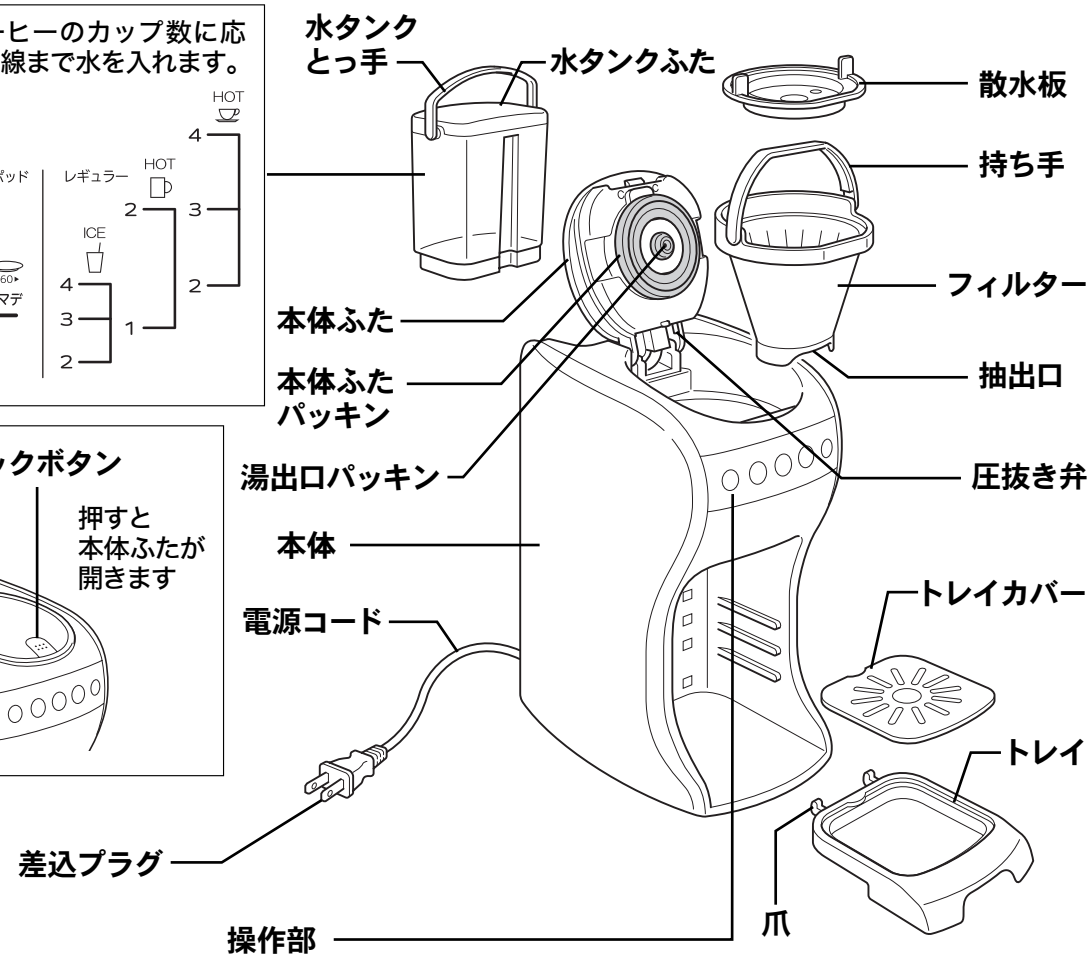
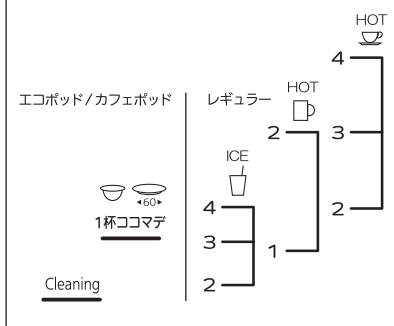
各部のなまえと付属品

箱をあけたら、
まず確認しましょう！



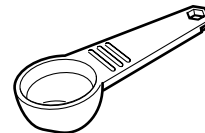
水タンク(目盛つき)

つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛の線まで水を入れます。

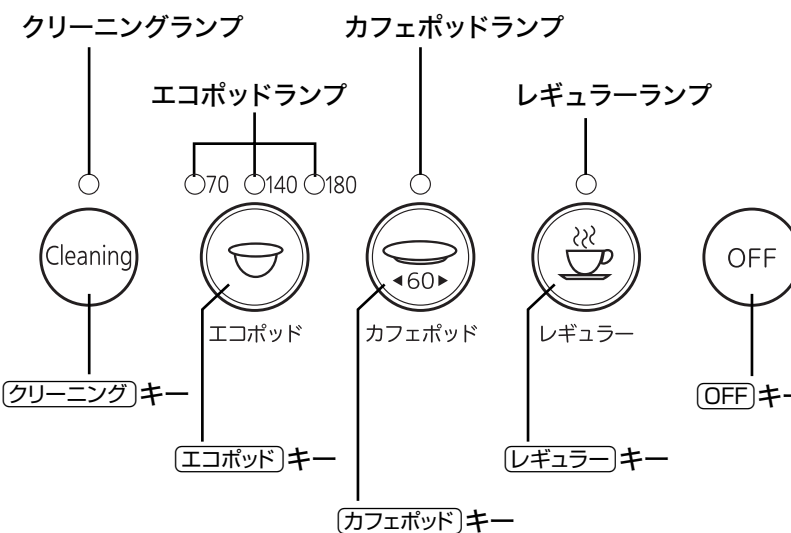
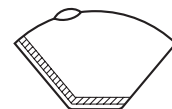


付属品

計量スプーン…1個
すり切り1杯 約7g



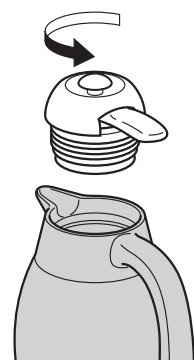
ペーパーフィルター
…5枚
市販のものも使えます。
(サイズ1×2または102)



はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

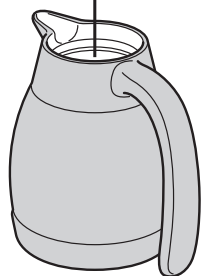
お手入れして、ドリップで本体内を洗浄。
コーヒーマーカーをきれいにするのが、
おいしいコーヒーづくりの第一歩！

1 サーバーふたをはずす。

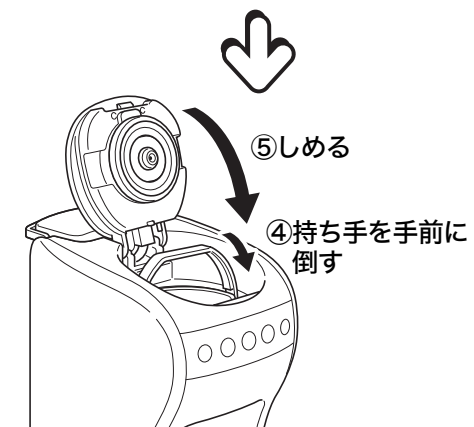
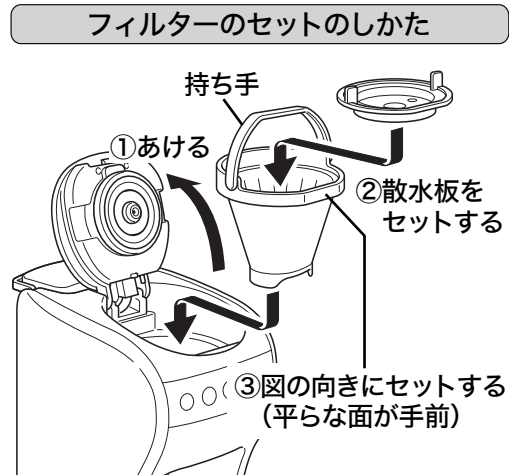
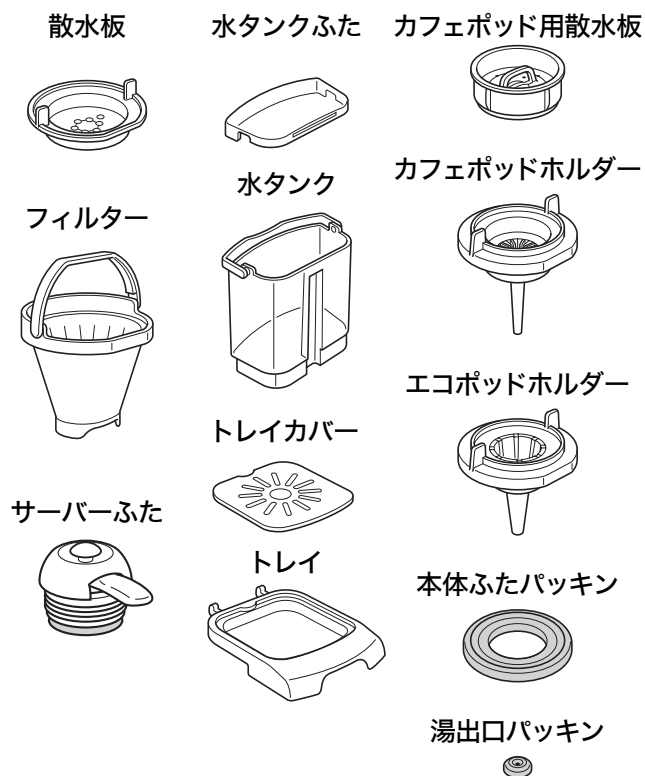


2 本体以外の部品は、水洗いする。 コーヒーサーバー内側は、 水ですすぐ。→P.26 ~ 28

コーヒーサーバー内側

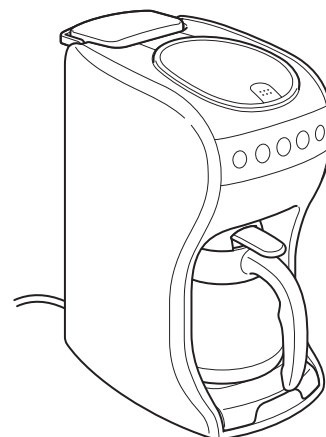


<丸洗いできる部品>



3 本体内を洗浄するために、 1~2回ドリップする。 →P.12 ~ 17

水は、水タンクの の目盛「4」まで入れる。
(コーヒー粉やペーパーフィルターは、セットしない。
ドリップ後のお湯はすてる。)



ご注意

- ◆トレイは確実にセットする。お湯があふれて、やけどのおそれ。
- ◆水タンク以外に水を入れない。
- ◆フィルターをセットするときは、確実に入っていることを確認する。
本体ふたがしまらなかったり、故障の原因。

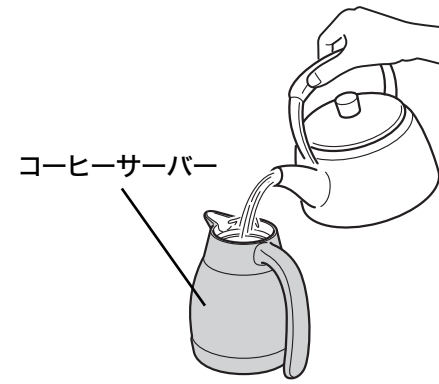
フィルターを使って コーヒーをいれる

コーヒーサーバーが煮つまりを防いで、
おいしさをキープしてくれるのね。

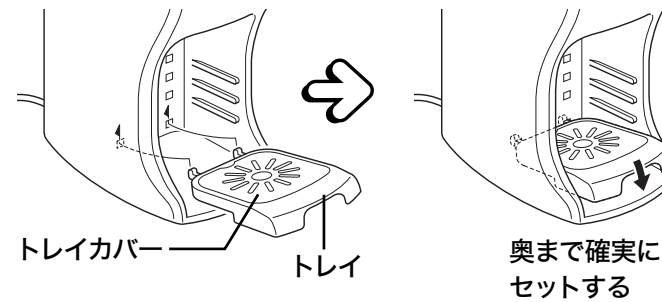


1 コーヒーサーバーに熱湯を
約半分まで入れ、
1分～2分温める。
(ホットコーヒーのときのみ)

保温効果を高めるためです。
温まったら、お湯をすてる。

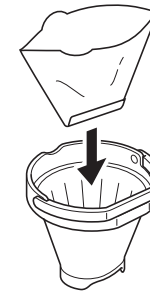


2 トレイカバーをトレイにセットし、
トレイを本体の一番下に
確実にセットする。



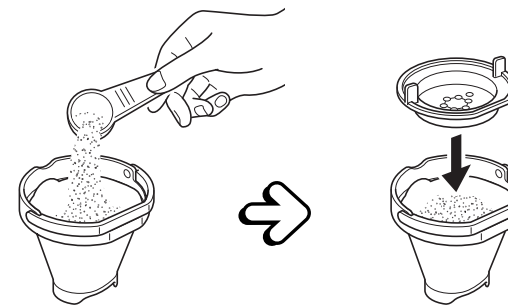
3 ペーパーフィルターを
フィルターにセットする。

市販のペーパーフィルターも使えます。→P.9

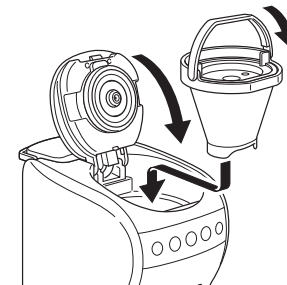


4 付属の計量スプーンで、
コーヒー粉をペーパーフィルターに
入れて上面をならし、
散水板をセットする。

【アイスコーヒーをつくるとき】
アイス用コーヒー粉を使います。



5 本体ふたをあけて、
フィルターをセットし、
本体ふたをしめる。→P.11

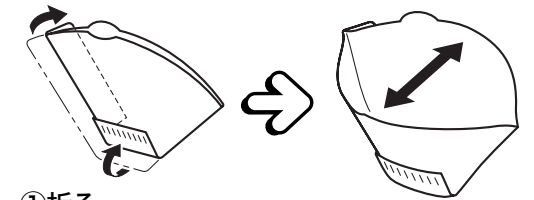


ペーパーフィルターの折りかた

底と横のミシン目を、約1cm折り曲げます。

②底と逆側に折る

③広げる



①折る

コーヒー粉を入れる目安

- ◆コーヒー粉はお好みにより加減する。
- ◆カップ数より少ない量はつからない。

ホットコーヒー

カップ数	コーヒー粉(計量スプーンすり切り)	
	☕ マグカップ 約180mL	☕ コーヒー カップ 約120mL
1カップ	1.5杯	—
2カップ	3杯	2杯
3カップ	—	3杯
4カップ	—	4杯

アイスコーヒー

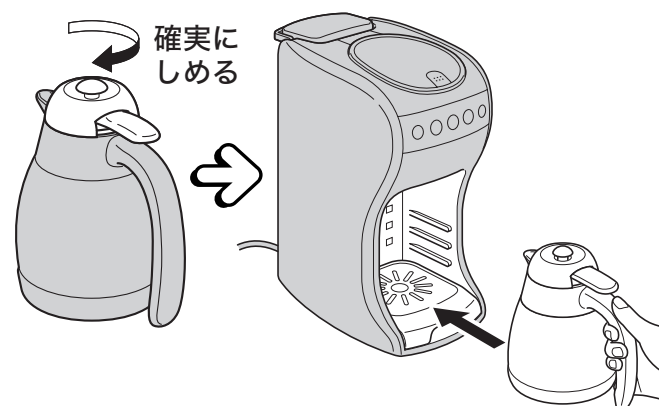
カップ数	コーヒー粉(計量スプーンすり切り)	
	☕ 1カップ 約60mL	
2カップ	2杯	
3カップ	3杯	
4カップ	4杯	

ご注意

- ◆散水板はフィルターに必ずつける。
コーヒー粉の飛び散りの原因。
- ◆本体ふたは必ずしめる。
電源が入らない原因。

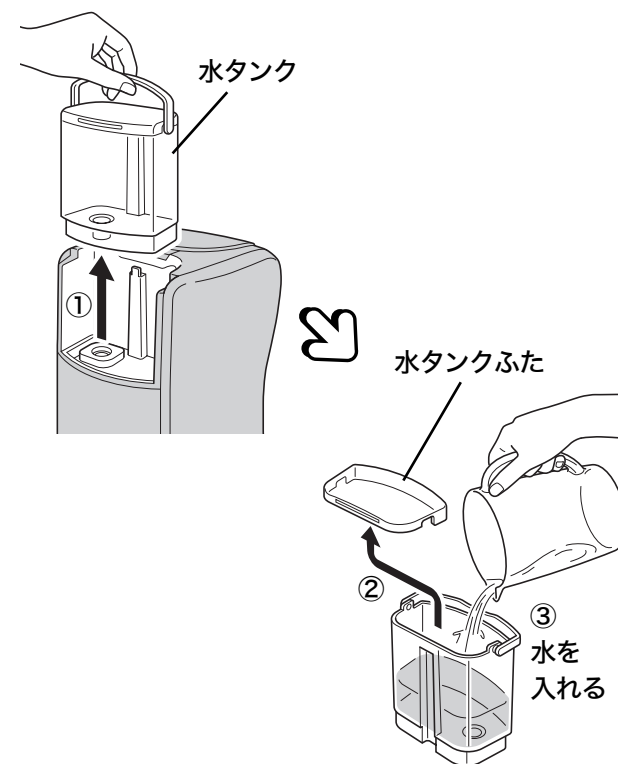
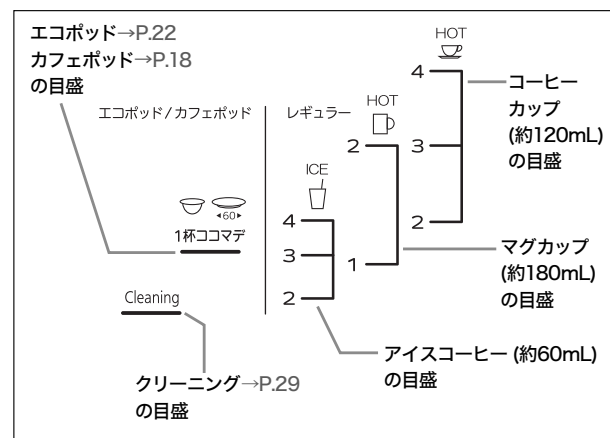
フィルターを使って コーヒーをいれる

6 コーヒーサーバーを本体の奥まで 確実にセットする。

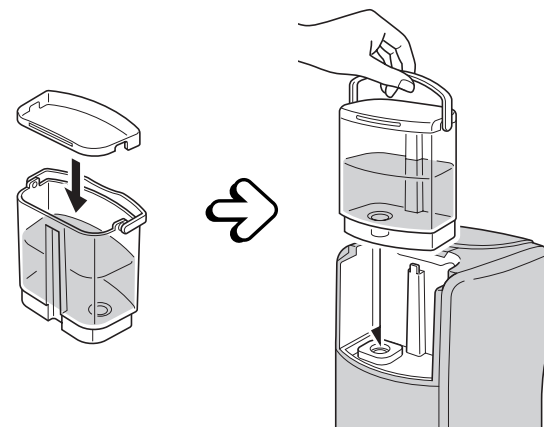


7 水タンクをはずし、 水タンクに水を入れる。

つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。
(☞の目盛「4」を超えて、水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。)

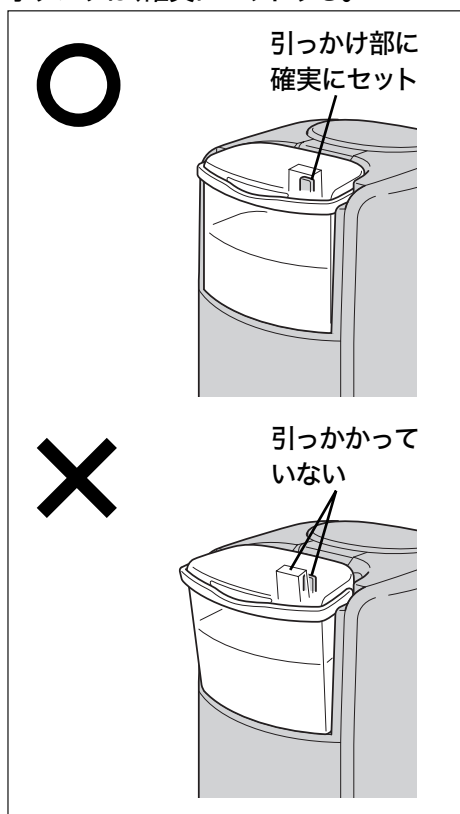


8 水タンクふたをしめ、 水タンクを本体に 確実にセットする。



水タンクについて

- ◆水タンクには、水を入れる。
お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の原因になります。
- ◆水タンクは、必ず本体からはずして水を入れる。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、水量が多くなります。
- ◆水タンクは、確実にセットする。



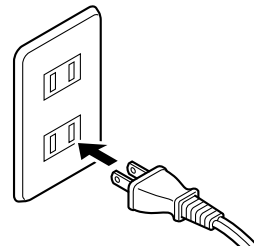
ご注意

- ◆サーバーふたは必ずしめる。コーヒーがこぼれる原因。
- ◆コーヒーサーバーは奥まで確実にセットする。コーヒーがこぼれる原因。

9 差込プラグをコンセントに差し込む。

クリーニングランプが点滅します(約20秒間)。
必要に応じてクリーニングする。

→P.29



10 を押す。

レギュラーランプが約5秒間点滅し、ランプが点灯に切り替わったら、ドリップを開始します。

※ドリップ中は、ポンプの動作音が鳴ります。

→P.30



11 ドリップが終わったら ピーピーピーと音が鳴り、 レギュラーランプが消灯。 コーヒーを注ぐ。

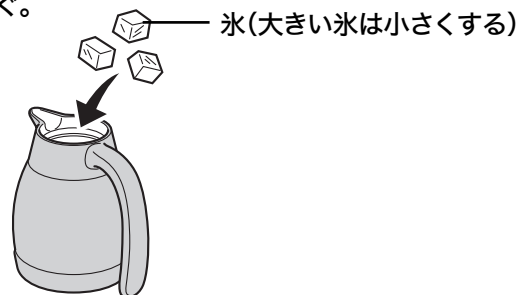
お湯や蒸気が完全に止まってから取り出し、サーバーレバーを押しながらカップなどに注ぐ。

【アイスコーヒーをつくる時】

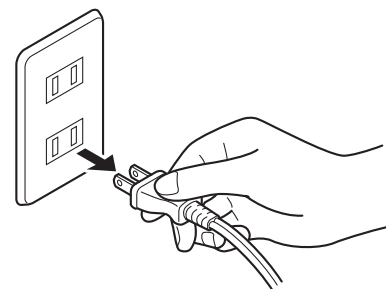
①サーバーふたをはずし、コーヒーサーバーに氷を入れて、かきまぜながら冷やす。

(氷はドリップ後に入れる。)

②サーバーふたをつけて、サーバーレバーを押しながら注ぐ。



12 差込プラグをコンセントから抜く。



熱めのコーヒーをお好みの方は

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

コーヒーの温度について

コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。

ドリップ後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、フィルターをはずし、ペーパーフィルターごと取り出します。

続けてつくる時

①本体が冷めるまで(約10分)待つ。

②P.12からの手順で、再度、ドリップする。

できあがり時間の目安

約5分～8分でできあがります。

※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量などにより変わります。

キーを押し間違えたとき

レギュラーランプが点滅している間(約5秒間)は、他のキーを押すと再度選択できます。

ドリップを途中で止めたいとき

[OFF]を押す。

ご注意

◆使用中は本体ふたをあけない。

圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれ。

◆サーバーふたをしめた状態でも、コーヒーがこぼれるため、コーヒーサーバーを傾けない。

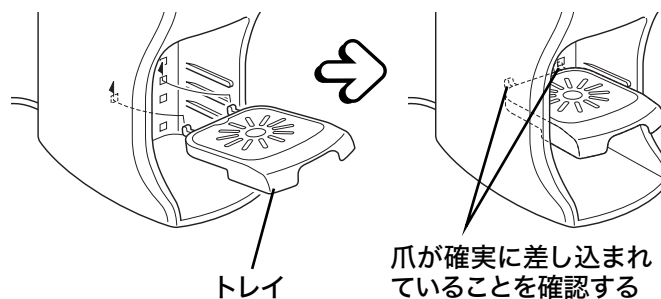
◆コーヒーサーバーを傾けた状態で、サーバーレバーを離さない。サーバーふたの内部に少量のコーヒーが残り、持ち運ぶときなどにコーヒーがもれるおそれ。

カフェポッドを使って コーヒーをいれる

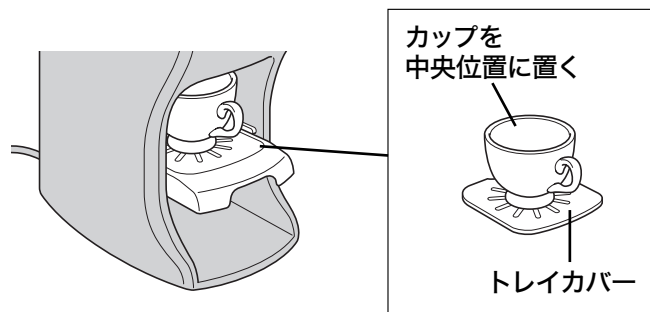
カフェポッドをセットして、
簡単にカフェの味が楽しめるのね。

1 トレイカバーをトレイにセットし、 カップの高さに合わせて、 トレイを本体に確実にセットする。

カップの高さに合わせて、4段階の位置調整ができます。

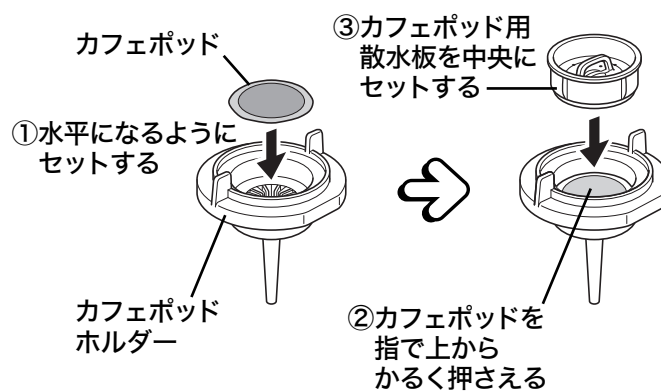
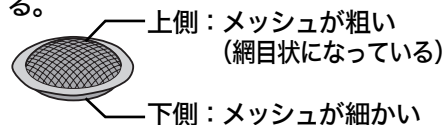
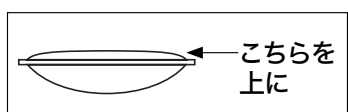


2 カップを、トレイカバーの 中央位置に置く。



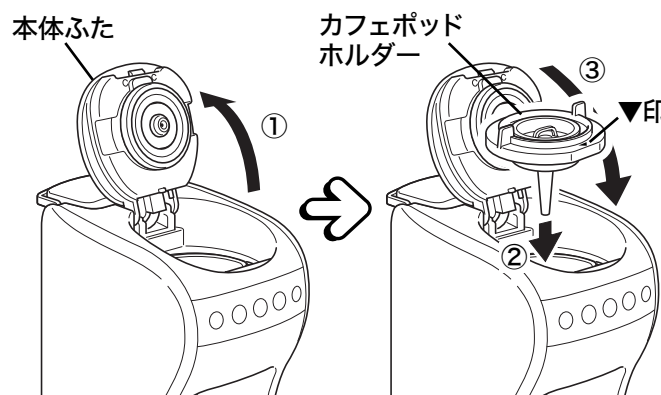
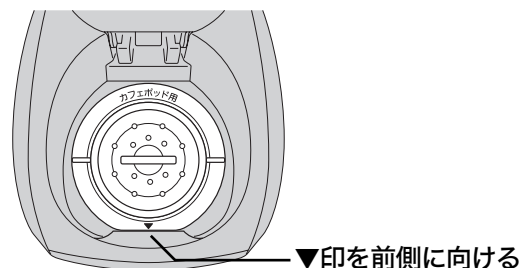
3 カフェポッドを、 カフェポッドホルダーにセットし、 カフェポッド用散水板をセットする。

カフェポッドは、
上下の向きを確認し、
平らな面が上になる
ようにセットする。



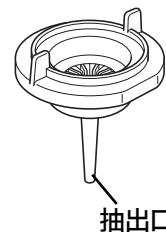
4 本体ふたをあけて、 カフェポッドホルダーを セットし、本体ふたをしめる。

カフェポッドホルダーの▼印を前側に向けてセットし、
確実にセットされていることを確認する。

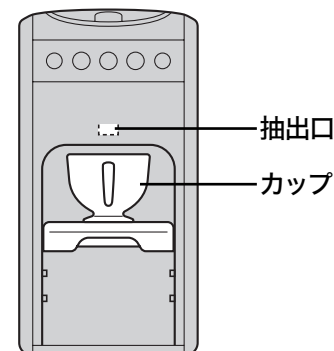


トレイのセット位置について

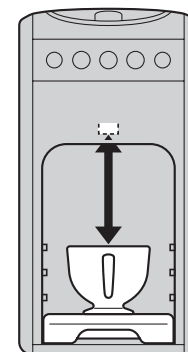
カップの上端が抽出口から
離れすぎないように、
トレイをセットする。
コーヒーが飛び散り、やけど
や汚れのおそれ。



○ カップの位置が
抽出口に近い



✕ カップの位置が
抽出口から
離れすぎている



ご注意

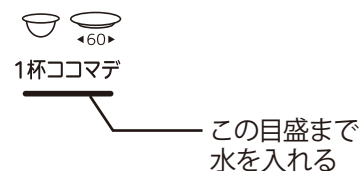
- ◆ カフェポッドは、必ずレギュラーコーヒー用(60mmタイプ)の規格のものを使う。
- ◆ 破れたり、粉がもれたりしたカフェポッドは使わない。
- ◆ カフェポッドは必ず1つだけセットする。
- ◆ コーヒー粉は使えません。
- ◆ カフェポッドは必ず上下の向きを確認する。間違えるとうまく抽出できない・抽出中に本体ふたが開く・故障の原因。

カフェポッドをいれる 使って

5 水タンクに水を入れ、 本体に確実にセットする →P.14・15

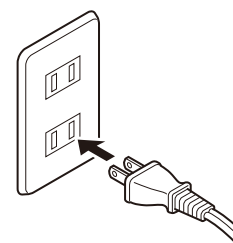
1杯分抽出時は、「1杯コマデ」の目盛まで水を入れます。
(抽出後、水タンクに水が残ります。)

【水タンクの目盛】



6 差込プラグを コンセントに差し込む。

クリーニングランプが点滅します(約20秒間)。
必要に応じてクリーニングする。
→P.29

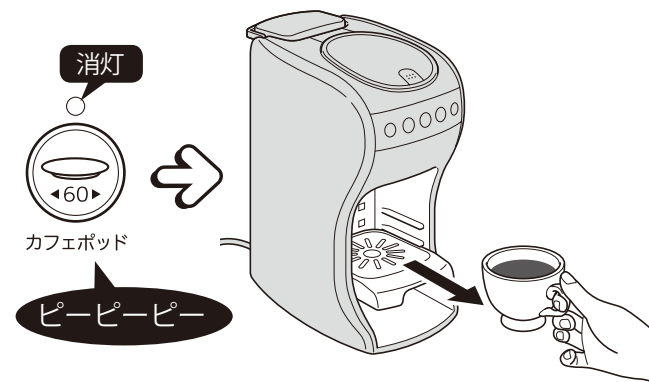


7 を押す

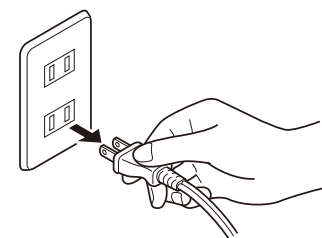
カフェポッドランプが約5秒間点滅し、
ランプが点灯に切り替わったら
抽出を開始します。
※抽出中は、ポンプの動作音が鳴ります。→P.30
※キーを押し間違えると、カップから飲みものがあふ
れるおそれがあります。



8 抽出が終わったら、 ピーピーピーと音が鳴り カフェポッドランプが消灯。 カップを取り出す。



9 差込プラグをコンセントから抜く。



抽出を途中で止めたいとき

OFF を押す。

キーを押し間違えた場合

カフェポッドランプが点滅している間(約5秒間)は、他のキーを押すと再度選択できます。

できあがり時間の目安

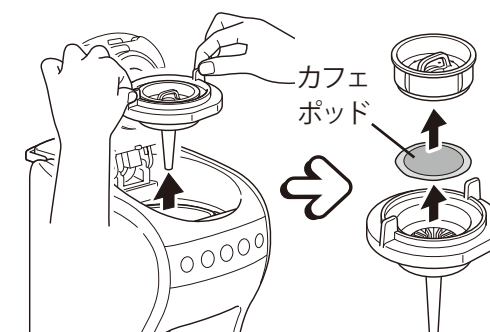
約2分～3分でできあがります。

抽出量について

できあがりのコーヒーの量は、約140mLです。

抽出後のカフェポッドは取り出す

カフェポッドホルダーを取り出し、カフェポッドをすてる。
※カフェポッド用散水板はすてない。
※一度使用したカフェポッドは必ず取り替える。



排水について

使用後は、水タンクに残った水をすて、本体内部に残った水を排水する。→P.29

ご注意

- ◆使用中は本体ふたをあけない。
圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれ。
- ◆抽出中にコンセントは抜かない。
- ◆抽出後しばらくは、抽出口からコーヒーが落ちるので注意する。
- ◆続けて使用する場合、抽出後のカフェポッドは必ず冷めてから取り出す。
やけどや、抽出中に本体ふたが開いたり、故障の原因。
- ◆カフェポッドホルダーの抽出口が詰まった状態で使用しない。→P.26
抽出中に本体ふたが開き、やけどのおそれ。

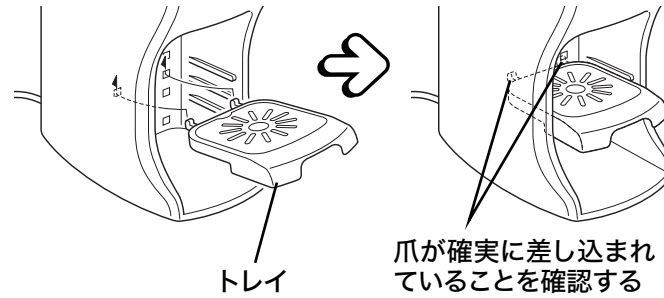
エコポッドを使って コーヒーなどをいれる

エコポッドで、コーヒーや紅茶などを
1杯分ずつ手軽に抽出できて便利！

1

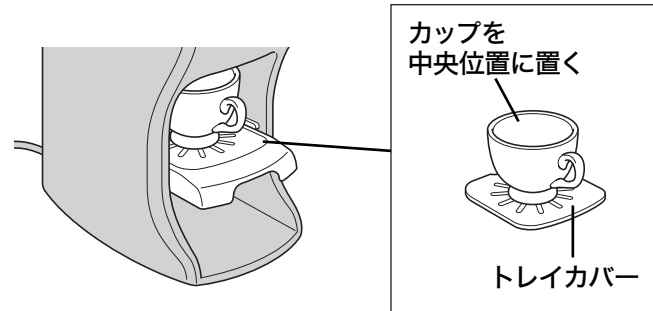
トレイカバーをトレイにセットし、
カップの高さに合わせて、
トレイを本体に確実にセットする。

カップの高さに合わせて、4段階の位置調整ができます。



2

カップを、トレイカバーの
中央位置に置く。



3

エコポッドを、
エコポッドホルダーにセットする。

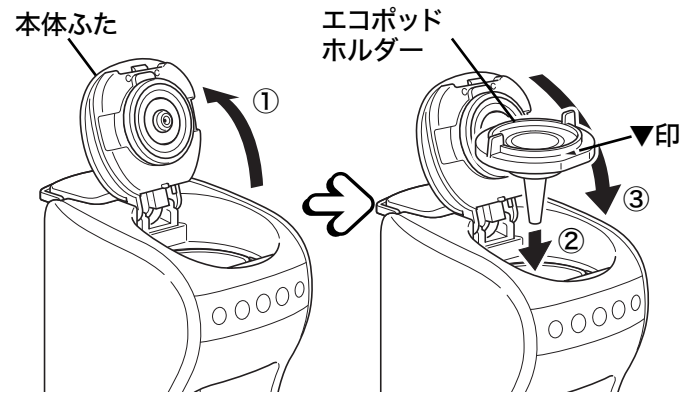
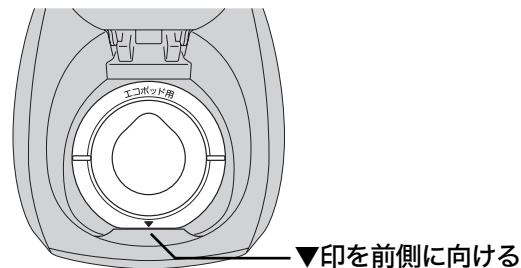
エコポッドの上下の向きを確認してセットする。



4

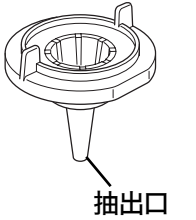
本体ふたをあけて、
エコポッドホルダーをセットし、
本体ふたをしめる。

エコポッドホルダーの▼印を前側に向けてセットし、
確実にセットされていることを確認する。

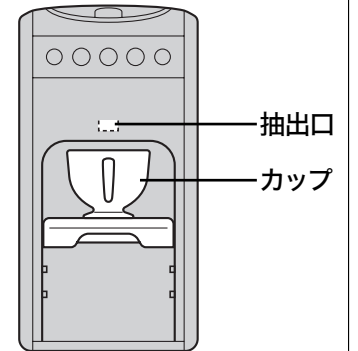


トレイのセット位置について

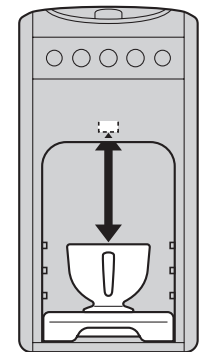
カップの上端が抽出口から
離れすぎないように、
トレイをセットする。
コーヒーが飛び散り、やけ
どや汚れのおそれ。



○ カップの位置が
抽出口に近い



✕ カップの位置が
抽出口から
離れすぎている



ご注意

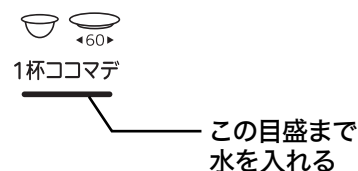
- ◆破れたり、粉がもれたりしたエコポッドは使わない。
- ◆コーヒー粉は使えません。

エコポッドを使って コーヒーなどをいれる

5 水タンクに水を入れ、 本体に確実にセットする →P.14・15

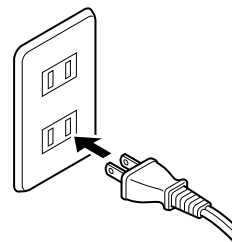
1杯分抽出時は、「1杯ココマデ」の目盛まで水を入れます。
(抽出後、水タンクに水が残ります。)

【水タンクの目盛】




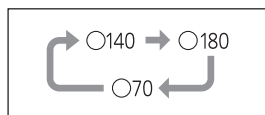
6 差込プラグを コンセントに差し込む。

クリーニングランプが点滅します(約20秒間)。
必要に応じてクリーニングする。
→P.29



7 を押して、 お好みの抽出量を選ぶ。

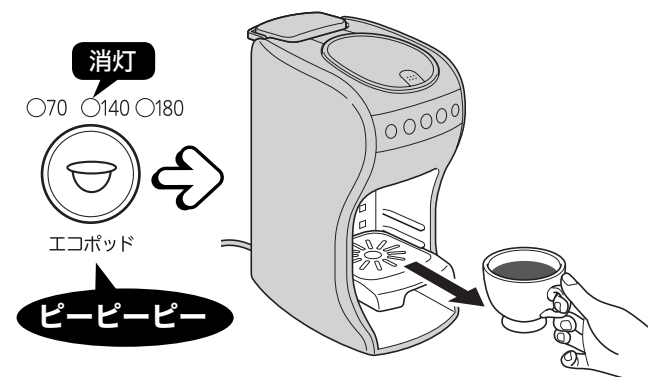
を押すごとに、抽出量(3段階)が切り替わります。標準抽出量は140です。



エコポッドランプが約5秒間点滅し、
点灯に切り替わったら抽出を開始します。
※抽出中は、ポンプの動作音が鳴ります。→P.30
※キーを押し間違えると、カップから飲みものがあふれるおそれがあります。



8 抽出が終わったら、 ピーピーピーと音が鳴り エコポッドランプが消灯。 カップを取り出す。



9 差込プラグをコンセントから抜く。

エコポッド使用時の推奨抽出量

70	アイスコーヒー、アイスティー
140	コーヒー(標準抽出量)
180	緑茶、紅茶、ウーロン茶

抽出を途中で止めたいとき

[OFF]を押す。

キーを押し間違えた場合

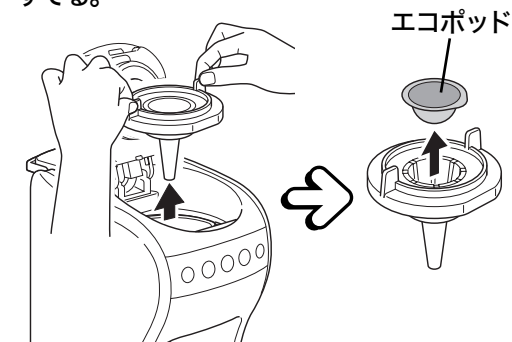
エコポッドランプが点滅している間(約5秒間)は、他のキーを押すと再度選択できます。

できあがり時間の目安

約1分～2分でできあがります。

抽出後のエコポッドは取り出す

エコポッドホルダーを取り出し、エコポッドをすてる。



排水について

使用後は、水タンクに残った水をすて、本体内部に残った水を排水する。→P.29

ご注意

- ◆使用中は本体ふたをあけない。
圧抜き弁からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれ。
- ◆抽出中にコンセントは抜かない。
- ◆抽出後しばらくは、抽出口からコーヒーが落ちるので注意する。
- ◆抽出後のエコポッドは、冷めてから取り出す。
やけどのおそれ。

お手入れする

こまめにお手入れして、
清潔・長持ち！

- ◆ 差込プラグを抜き、冷めてからお手入れします。
- ◆ 洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使います。
※洗剤分が残っていると、樹脂などの劣化・変色の原因になりますので、十分に洗い流してください。
- ◆ スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。



使うたびに 洗う部品



※汚れてきたら、P.28のように
はずして洗う。

- 1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
- 2 サーバーふたを振って、穴から水を抜く。
- 3 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

ご注意

- ◆ シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ◆ 食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- ◆ コーヒーサーバーのつけおき洗いをしない。
- ◆ カフェポッドホルダーの抽出口が詰まった場合は、細い棒状のものを差し込んで取り除く。

コーヒーマサー

- 1 内側は、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。汚れが目立ってきたら、クエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめてコーヒーマサーに入れ、2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水ですすぐ。
- 2 外側は、洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
- 3 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。

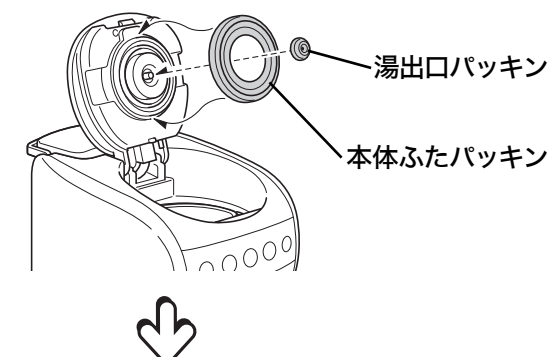


コーヒーマサーの汚れには、ステンレスボトル用洗剤TAA-A100(別売品)のご使用をおすすめします。

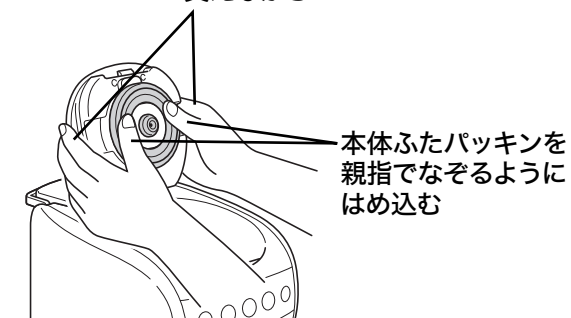
各パッキンのつけかた

下記のパッキンは、はずしてお手入れできます。

本体ふたパッキン 湯出口パッキン



親指以外の指で
本体ふた全体を
支えながら

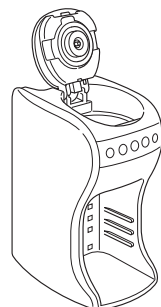


本体ふたパッキンを
親指でなぞるようにはめ込む

汚れるたびにお手入れする箇所

本体

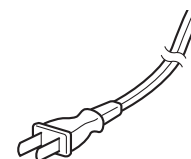
- 1 洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
- 2 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。



電源コード

差込プラグ

乾いた布でふく。



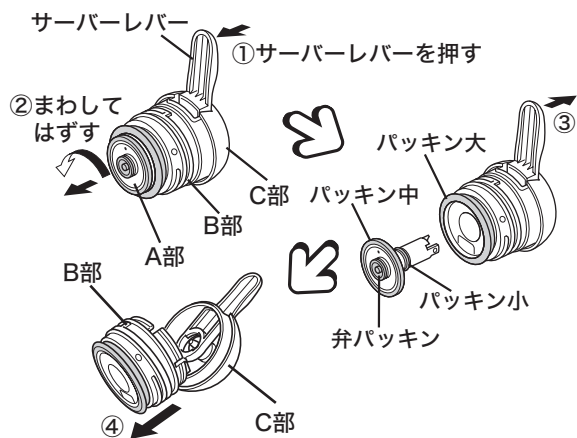
ご注意

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

サーバーふたの はずしかた・つけかた

はずしかた

※必ずA部をはずしてからB・C部をはずす。

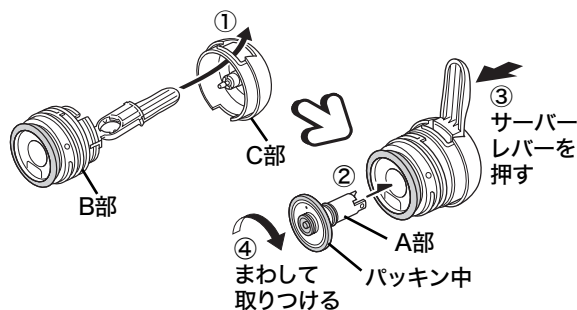


つけかた

〈A部を取りつけるとき〉

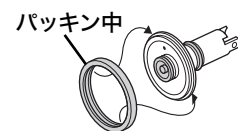
「カチッ」と音がするまでまわして取りつける。

※パッキン中のねじれやはずれに注意する。

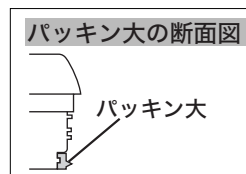


ご注意

◆パッキン中がはずれたときは、注意して奥まできっちりはめ込む。



◆パッキン大がはずれたときは、向きに注意して奥まできっちりはめ込む。

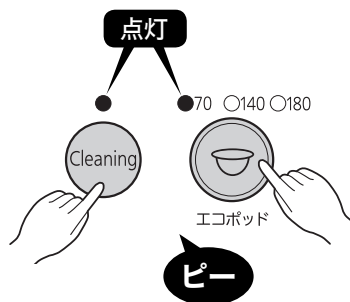


◆弁パッキンとパッキン小は、はずさない。故障の原因。

ドリップのお湯の出具合が悪くなったとき

クエン酸を使って、本体内を洗浄する。

- ① トレイカバーをトレイにセットし、本体の一番下にセットする。→P.12
- ② 散水板をフィルターにつけ、フィルターをセットする。→P.12
- ③ コーヒーサーバーをセットする。→P.14
- ④ 水タンクに、クエン酸約10g(大さじ1杯)を入れ、の目盛「4」まで水を入れてまぜる。
- ⑤ 水タンクふたをしめ、水タンクを本体にセットする。→P.14
- ⑥ 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.16
- ⑦ **クリーニング**と**エコポッド**を2秒以上長押しするとクリーニングランプとエコポットランプ(70)が点灯。



- ⑧ ピーピーピーと鳴って、クエン酸洗浄が自動的に止まる。
- ⑨ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。
- ⑩ コーヒーサーバーのお湯(水)をすてる。
- ⑪ クエン酸水のおいをとるために、水タンクのの目盛「4」まで水を入れ、1～4回ドリップする。→P.12
※ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリップ後のコーヒーサーバーのお湯(水)はすてる。

本体内部に残った水を排水する(クリーニング)

クリーニングが必要な場合

- ◆ カフェポッドやエコポッドを使用したとき。
- ◆ 前回使用してから、しばらく使わなかったとき。
- ◆ ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用している場合。

- ① トレイカバーをトレイにセットし、本体の一番下にセットする。→P.12
- ② 散水板をフィルターにつけ、フィルターをセットする。→P.12
- ③ コーヒーサーバーをセットする。→P.14
- ④ 水タンクに、Cleaning(クリーニング)の目盛まで水を入れて、本体にセットする。
- ⑤ 差込プラグをコンセントに差し込む。→P.16

- ⑥ **クリーニング**を押す。クリーニングランプが約5秒間点滅し、ランプが点灯に切り替わったら、クリーニングを開始します。



- ⑦ クリーニングが終わったら(水がなくなったら)、ピーピーピーと鳴って、クリーニングランプが消灯し自動的に止まる。
- ⑧ コーヒーサーバーのお湯をすてる。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認ください	直しかた	参照ページ
キーを押しても、反応しない。	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込む。	16・17・20 21・24・25
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れる。	14・15 20・21 24・25 28・29
	水タンクがセットされていますか。	正しく確実にセットする。	
	湯出口に汚れが付着していませんか。	お手入れする。	26・27
お湯の出具合が悪い。(時間がいつもより長くかかる)	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	29
お湯がにおう。	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	29
コーヒーサーバーからあふれる。	サーバーふたが目詰まりしていませんか。	サーバーふたをお手入れする。	26・28
	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクのの目盛「4」を超えて、水を入れない。	14・15
	フィルター・散水板をセットしていますか。	フィルター・散水板を確実にセットする。	12・13
	カフェポッドホルダー・エコポッドホルダーをセットしていませんか。	コーヒーサーバーを使うときは、フィルター・散水板をセットする。	12・13

故障かな?と思ったら

こんなとき	ご確認ください	直しかた	参照ページ
抽出中に本体ふたが開く	指定のカフェポッド・エコポッドを使っていますか。	指定のカフェポッド・エコポッドを使う。	2・3
	カフェポッドホルダーの抽出口が詰まっていますか。	カフェポッドホルダーをお手入れする。	26
	カフェポッドの上下の向きが間違っていますか。	カフェポッドの上下の向きを確認する。	18・19
	カフェポッドを続けて使用していませんか。	カフェポッドを続けて使用する場合は、本体が冷めてから抽出する。	21
カフェポッド・エコポッド使用時にカップから飲みものがあふれる。	レギュラーを押していませんか。	セットしているホルダーに合わせて、 カフェポッド または エコポッド を押す。	20・21 24・25
	カップに合わせた抽出量を選択していますか。	カップに合わせた抽出量を選択する。	24・25
トレイからお湯などがあふれる。	トレイにお湯などが入ったままになっていませんか。	トレイに何も入っていない状態で使う。	12・13・18 19・22・23
	カップをトレイカバーの中央位置以外に置いていませんか。	カップをトレイカバーの中央位置に置く。	18・19 22・23
「ピピピ」と音が鳴り、操作できない。	本体ふたがあいていませんか。	本体ふたをしめる。	7・12 18・22
	本体ふたがしまっている場合は、本体が冷めてから(約10分)、本体ふたをあけ、しめる。		
水タンクに水が残った状態で「ピーピーピー」と音が鳴り、ランプが消灯した。	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの目盛「4」を超えて、水を入れない。	14・15
	できあがりのコーヒーの量が少なくありませんか。	クエン酸を使って、本体内を洗浄する。	29
	カフェポッド・エコポッド使用時は、抽出後、水タンクに水が残ります。		20・24
コーヒーサーバーの内側が黒く変色している。	コーヒーサーバーの内側にコーヒー渋が付着していませんか。	コーヒーサーバーをお手入れする。	27
こんなとき	理由	参照ページ	
コーヒーがぬるい。(保温が効いていない)	コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。抽出したコーヒーの量が少ない(1~2カップ)と冷めやすくなります。	17	
樹脂部品にキズ(欠け)のように見える箇所がある。	寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温効果が得られない場合があります。		
樹脂などのおいがする。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
本体上部が熱くなる。	使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
作動音や振動が大きい。	本体上部にお湯が通るためです。故障ではありません。		
	本体内のポンプで水をくみあげ、本体内に水を通す音です。故障ではありません。		

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので交換してください。(有償修理)

◆パッキン(消耗品)

汚れやにおいがひどくなったり、破損したときは、上記でお買い求めください。

仕様

電源	消費電力(W)	満水容量*(L)	抽出方式	コードの長さ*(m)	
100V 50-60Hz	1000	0.54	ドリップ式	1.25	
	外形寸法*(cm)			質量*(kg)	
	幅	奥行	高さ		
	フィルター使用時	18.1	27.9	34.2	3.2
	カフェポッド使用時	18.1	27.1	34.2	2.7
エコポッド使用時	18.1	27.1	34.2	2.7	

*印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」→P. 29をご覧ください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3修理を依頼される時

保証期間内 … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 … 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 … 製品の修復に使った部品の代金です。

6その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。